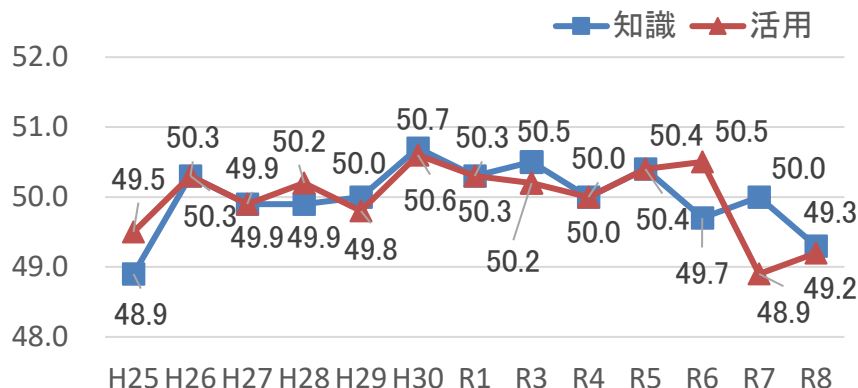


※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

結果のポイント

1 偏差値の経年変化



▲知識と活用ともに偏差値50を下回っている。

2 観点別の結果

観 点	県正答率	全国正答率	目標値
知識・技能	49.5	51.1	51.2
思考・判断・表現	46.9	49.4	49.1

▲全ての観点において全国正答率を下回っている。

3 領域別の結果

領 域	県正答率	全国正答率	目標値
聞くこと	53.6	56.3	57.2
読むこと	49.5	51.9	51.5
書くこと	43.0	43.5	43.0

▲全ての領域において、全国正答率を下回っている。

4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	53.9	56.5	56.3
短答	47.6	49.1	50.0
記述	37.1	37.8	37.8

▲全ての解答形式において、全国正答率を下回っている。

■ つまづきが見られた問題

大問5

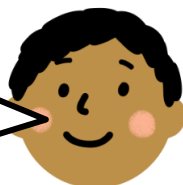
県正答率 22.4% 全国正答率 24.4%

県無解答率 37.8%

【問題例】

あなたの学校に、カナダからの留学生のマイクがやってきました。マイクからの問いかけに対して、あなたはへと答えますか。3語以上の英語で簡潔に書きなさい。英文は2回繰り返します。

Hello. I'm Mike. I came to this city last Sunday, so I don't know this city well. I want to go to a nice place. **What is your favorite place in this city?** Please tell me.



【課題】 主に、以下の2つの課題が考えられる。

- ▲ まとまりのある英文を聞き取ることができていない。
→「聞くこと」領域の資質・能力の育成に課題がある。
- ▲ 質問は理解しても、英語で書くことに苦手意識がある。
→「書くこと」領域の学習機会の充実に課題がある。

◆ 指導のポイント

- (1) 聞く活動前に、①イラスト等を提示しながら生徒とやり取りをすることで、**状況や場面等を理解**させたり、②聞き取る内容について確認することで、**聞く目的を明確**にしたりする。
- (2) 聞く活動中は、1人1台端末を活用して、速度を変えたり、繰り返し聞いたりして、**生徒の必要に応じた聞く方法を選択**させる。
- (3) 「書くこと」の学習活動を多く設定することで、抵抗なく「書くこと」ができる生徒を育成し、知識・技能等の確実な定着を図る。

★ 指導の具体例

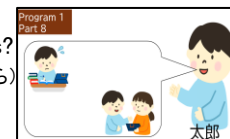
「聞くこと」領域の資質・能力を育成するための効果的な指導

【エラー例：聞く活動前】

先生: Now, let's listen to the textbook. Are you ready?
生徒: Yes! (でも、どんな英文なのだろう…。何を聞き取ればよいのだろう。)

【改善例：聞く活動前】

先生: Now, let's listen to the textbook. Who is this?
生徒: Taro. (スクリーンを見せながら)
先生: Yes, he is Taro. What is he doing?
生徒: He is ... 自己紹介?
先生: Yes, He is introducing himself. Now, please look at this.
We have two listening points. (スクリーンを見せながら)
生徒: OK... 得意?
先生: I am good at basketball. How about you, A?
生徒A: I am good at singing.
先生: You are good at singing. Nice! How about Taro? What is he good at? Now, listen.



聞き取るポイント

- ① 太郎は何が好きですか。
- ② 太郎は何が得意ですか。



(参考動画)
授業ココミテ

聞く活動の前に、イラスト等を見せながら、生徒とやり取りする等することで、
①状況・場面等や、②聞く目的について把握させた上で、聞かせるようにする。

【エラー例：聞く活動中】

先生: Who wants to listen one more time? ... OK, everyone. Let's listen one more time.
生徒A: ... (最後の方が聞き取れなかったから、最後の方だけ何度も聞きたいなあ。)

【改善例：聞く活動中】

先生: Now, let's listen by yourselves with your tablets.
生徒A: 私は最後の方が聞き取れなかったから、最後の方を何度も聞いてみよう。
生徒B: 僕にとってはスピードが速すぎるから、スピードを遅くして聞いてみよう。

聞く活動中は、1人1台端末を活用し、必要に応じた聞き方を選択できるようにする。

「書くこと」領域の学習機会を充実等させるための効果的な指導

先生: Everyone, today, you had a great introduction with many friends! Good job!
Finally, let's write about yourself on the worksheet.
生徒: ... (友だちと話して自己紹介はうまくできたけど、書くとなると難しいなあ。)

「書く」活動を多く仕組むことで、抵抗なく「書くこと」ができるようにする。

→「書く」活動に頻繁に取り組むことで、生徒及び教師にとって、言語材料等の理解の度合いが分かり易く、効果的な手立てにより、知識及び技能等の定着につながりやすい。